

平成29年4月28日

保護者の皆様

釧路市立鳥取小学校  
校長 本川 敬一

# 特別支援教育便り

## 特別支援教育とは…

特別支援教育とは、学習面、行動面、社会性などで難しさを感じている子どもに対し、その子の特徴に合った支援をすることで、より楽しく学習を行ったり生活を送ったりすることを目指す取り組みです。

## 保護者の皆様へ

子どもには、それぞれよさやできることがたくさんありますが、「教科書をうまく読めない」「計算ミスが多い」「会話が一方的である」「気が散ることが多い」など支援を必要とすることがあります。

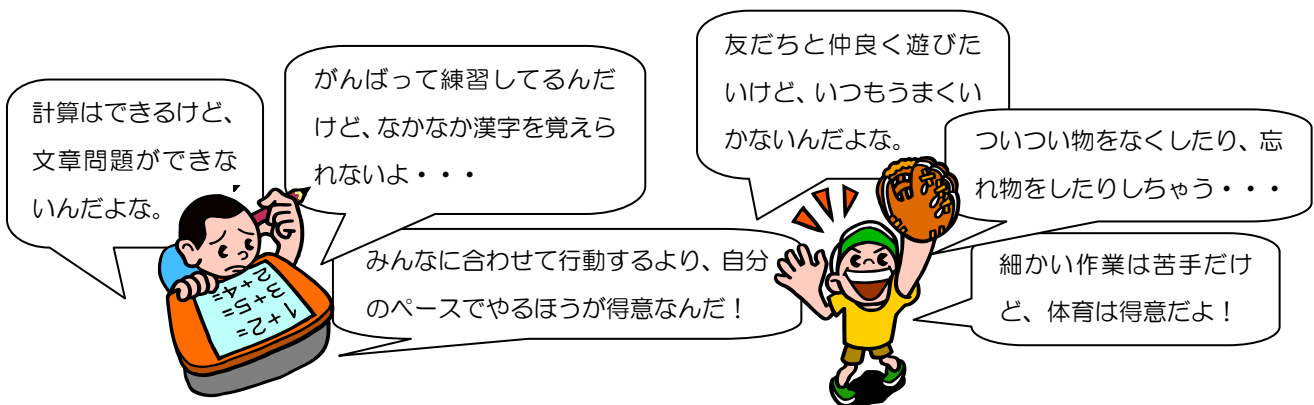
こうしたことから、本校では、教育支援委員会を設置して、特別支援教育コーディネーターを中心に、教職員全員で必要な指導や支援を行っています。

たとえば、「ふりがなをふる」「計算の手順を分かりやすく示す」「そばについて話をする」など、必要な支援を行っていきますので、一部の子どもへの差別やえこひいきをするものではありません。

「わかりやすい授業づくり」や「互いの違いを認め合える学級づくり」に取り組むことは、一部の子どもだけでなく、すべての子どもに対する指導の充実を図っていけるものと考えています。こうした取り組みについて、ご理解とご支援を賜りますよう、お願いいたします。

また、このことについて、ご意見ご質問があれば、いつでも電話などをお寄せ下さい。

## こんなことで 困っていませんか？



## 合理的配慮について

この言葉を知っている方もいるかもしれませんが、平成28年4月1日より「障害者差別解消法」が施行されました。この中にある「合理的配慮」は、障害を持つ人々に対して必要な環境整備などの配慮を行うということです。当然、鳥取小学校でも行われます。

具体的にはそれぞれのお子さんで違うと思います。お子さん自身の状態やスキル、本人の意思、それに対する評価、ご家庭の意向、今後の見通しや成長する上での課題、そして学校の体制面を勘案し、話し合いで決めることとなります。

お子さんのことについて、困っていることなどありましたら、担任の先生やコーディネーター、外部の専門家などと今お子さんに必要な支援を話し合いませんか。

## Q&Aコーナー

## 鳥取小では？！



**Q、どこで 誰が 指導するのですか？**

**A、**その子のつまずきの状況、また本人の性格や保護者の方の願い等によって、一人一人違います。

基本的には、現在在籍する学級で、担任や少人数担当の先生、フリーの先生がその子のよりわかりやすい方法を工夫していきます。ただ、周囲が気になり集中できない場合や、特別支援学級での学習内容が効果的と思われる場合には、在籍する学級から他の教室に移動し学習することもあります。

**Q、本人の気持ちや、  
周囲の理解が気になるのですが…？**

**A、**「誰でも得意不得意があるのは当たり前」ということを、各学級でしっかりと指導していきます。また、子ども同士の触れ合い等を通して、苦手なことは助け合いながら生活していくことが当たり前と感じられる心を学校全体で育てていきます。

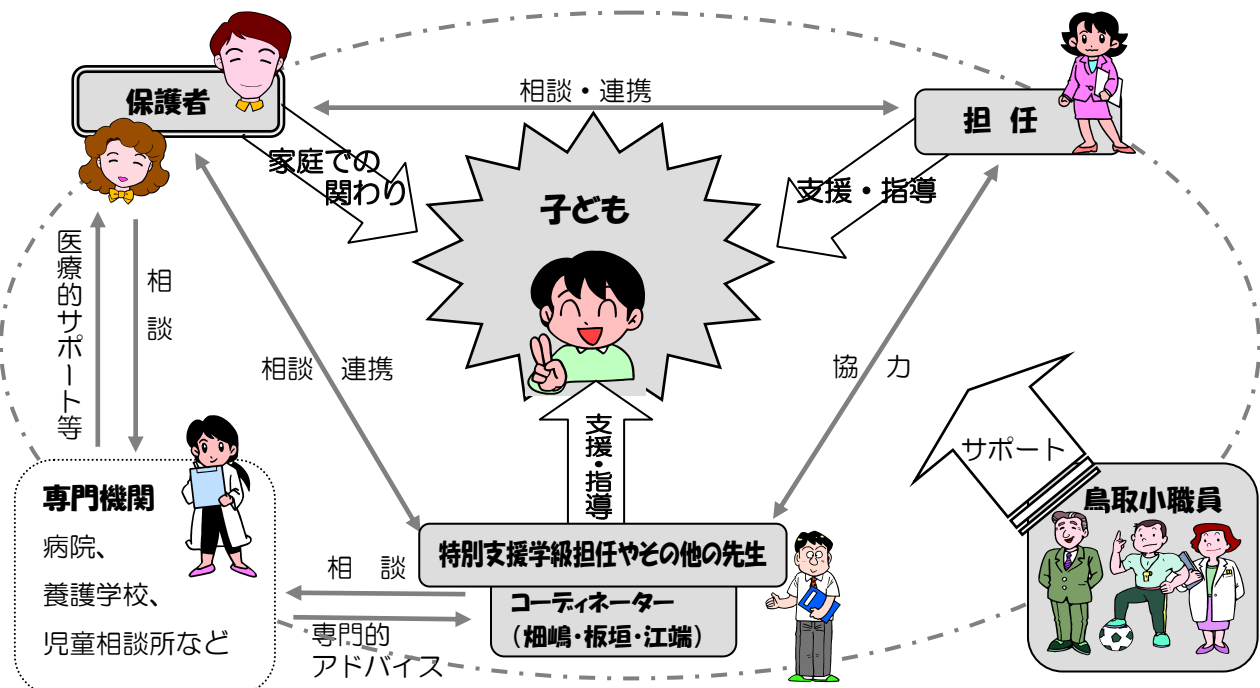
特別支援教育の目的は、その子が「学習しやすく」「生活しやすく」することで、障がいの有無や障がいの種類を明確にすることではありません。その子のつまずきの状態と心のバランスを常に考慮し、何よりも本人の気持ちを第一に考え行っていきます。

### 特別支援学級って こんなところ！

教科学習はもちろん、よりよいコミュニケーションの仕方や、リトミック、上手な遊び方、体力づくり等に取り組んでいます。一人一人の実態に応じて、その子の特徴に合った対応をしています。先生方や子ども同士で関わり、成長を見せています！

## みんなで サポート！ ～お気軽に ご相談ください！～

鳥取小では、ご家庭とよく相談し協力し合いながら、支援を進めていきたいと考えています。気になることがありましたら、小さなことでもかまいませんので、担任もしくは、コーディネーターまでぜひご相談ください。お子さんが、たくさん「わかった！」「がんばれた！」という経験ができるよう、また、みんなが笑顔で過ごせるよう支え合っていきましょう！



《相談窓口》 電話 51-3401 (鳥取小)

担任、コーディネーター (畑嶋・板垣・江端) まで、お電話ください。